

水性合成皮革(アクアウィッシュ®)の自動車内装材への採用について

共和レザー株式会社(本社：静岡県浜松市、取締役社長：宮林克行、以下共和レザー)は、有機溶剤を使用しない水性ウレタン合成皮革「アクアウィッシュ®」を開発しました。このたび2009年10月19日、「アクアウィッシュ®」はトヨタ自動車株式会社より発表された新型マーク X のドアグリップとフロントコンソールボックスに、世界で初めて 水性銀面タイプの車両用ウレタン合成皮革として採用されました。

「アクアウィッシュ®」は、揮発性有機化合物(VOC)を使用しない人と地球環境に優しい製品です。本革に比べて大幅に軽量化が図られ、従来の合成皮革よりソフトでしっとりした風合いなどが特徴です。(詳細、以下のとおり)

今後、共和レザーは自動車内装材の各部位へ提案を行い、拡販につなげていきます。

2009年10月現在。当社調べ。

【アクアウィッシュ® 採用部品】



ドアグリップ



フロントコンソールボックス

【アクアウィッシュ® 特徴】

有機溶剤を使用しない環境に優しい水性ウレタンを採用

水性ウレタンの特徴から、従来の合成皮革と比較して本革に近い吸放湿性と、しっとりした触感

新しい発泡技術により、均質な発泡層で本革に近いソフトでボリューム感のある風合いを実現

本革に比べて約 50%の軽量化

新製法によって生産時 CO₂ 排出量を大幅に削減

以上